



①離陸地点は気圧配置や風向きなどを考慮し、ベストな場所をセレクト。砂浜など平地から飛び立てるのがモーターパラグライダーの特徴。翼を広げ、風を受けるとふわっと空中に舞い上がる。②テイクオフの練習。モーターを始動後、紐を引くと浮かび上がる③翼は柔らかく軽い素材が使用されているので片手で持ち上げられる。④遙か遠くに望む水平線。吉野熊野国立公園の複雑に入り組んだ海岸線を眼下に、風に揺られながら360度パノラマの景色を満喫。大空を独り占めしているような気持ちに。この体験は一生の思い出。⑤飛行中はインカムを通じてコミュニケーションが取れるので安心。



「青い空と蒼い海、自然が織りなす奇岩など南紀熊野の絶景を眺めながら非日常を感じて欲しい」と立野さん。

家族とともに
自然と暮らす

①畑作業の合間に小川で遊ぶ4人きょうだい。串本町の豊かな自然は子供たちにとって、絶好の遊び場。②田植えが終わったばかりの田んぼを駆け回り虫とり。季節ごとに新しい発見があり、自然から学ぶことは多い。③転んでもへっちゃら。泥だらけになりながらあぜ道を走り回る。④「命の大切さを知ってもらおうと最近、狩猟免許を取得しました」と立野さん。また妻の梨沙さんは「この人とならどこにいても生きていける」と語る。仲よし家族に笑顔が絶えない。



空・海・山・川の体験や
ロケット発射場で注目
本州最南端の町・串本



本州最南端の地に立ち大海原を一望する潮岬灯台や、ラムサール条約で保護された豊かな海を水深6.3mから観察できる海中展望塔など、美しい自然やジオパークを満喫できる串本町。観光スポットだけでなくシーカヤックやダイビングなどのアクティビティも充実。さらに民間ロケット発射場の整備が進み、最先端科学技術が集積することも期待される。

南紀パラグライダー

- 住所／東牟婁郡串本町和深2009-1
- 電話／070-8487-5387
- 料金／スタンダードコース(高度200m・約10分間のフライト)
- ※所要時間40分 13,000円など
- https://nankipara.com/

絶景の本州最南端で空中散歩。感動を伝えたい!

南紀パラグライダー 代表 ● 立野仁徳

「会社員をしていた時、旅先でパラグライダーにはじめて乗りました。地上から離れ空を飛ぶという浮遊感に感動し、人生観が変わりました。その感動を多くの人と共有したいと起業を決意しました。そして美しい空と海を探し回り出会ったフィールドが、ここ串本町でした」と熱く語るのは、茨城県出身の立野仁徳さん。現在、本州最南端の空をフィールドに、モーターパラグライダーでの遊覧飛行体験を提供している。

「モーターパラグライダーは一般的なパラグライダーと異なり、モーターで回転するプロペラを推進力に平地から飛び上がります。高い山から離陸する必要がなく、飛び立った地点に戻ることができるのが特徴です」。離陸した後、上昇気流を掴むと一気に高度約200mまで。パラグライダーは1年中楽しめるアクティビティだが、特に冬は空気が澄んでいるので視界が開け、格段に美しい景色を楽しめるのでおすすめです。「とにかく安全が第一。地上の天気はもちろん上空の風の状況などを入念に調べ、離陸地点も前日に決定します。お客様は県内はもとより、遠くからわざわざ足を運んでくださいます。また、年齢層も子供からシニアまで幅広く、地上に降りた瞬間の「また乗りたい」という言葉が何よりも嬉しいですよ」と笑顔が浮かぶ。

米作りなどの農作業にも勤しむ。人が手が必要な時は2歳になる末っ子をはじめ、家族全員で力を合わせる。「移住のきっかけは、東日本大震災でした。子供たちにはどんな環境でも生活できる力を身に付けて欲しいと思うようになり、自然豊かな串本にきました。先日、長男が魚を食べたいから釣りに行こうと言っています。少しずつですが逞しく育っているなど感じました」。年上の子供が小さいきょうだいの面倒を見る。家族が助け合いながら暮らす立野さん一家。小さな子供も頼りになる仲間のようだ。